

平成28年第8回 松山市教育委員会定例会

(家串事務局次長)

ご起立願います。
一同礼。
ご着席ください。

(教育長)

ただいまから平成28年第8回松山市教育委員会定例会を開催いたします。

本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりであります。

まず、本日の会議録署名人に松本委員を指名いたします。

ここでお知らせをいたします。

本日、教育委員会定例会には1人の傍聴を許可しておりますので、ご報告をいたします。

あわせて、カメラの撮影も許可をしております。

傍聴人に申し上げますが、教育委員会の傍聴に当たっては、議案・報告等案件に対して賛成あるいは反対の意見表示をしたり、会議の妨害となる行為をすることは禁じられております。

規則等に基づき非公開の議決があったときには、一時的に退席をしていただきます。

また、規則等に違反する場合は退席を命ずることがありますので、申し上げておきます。

それでは、議題に入る前に、任期満了により退任された金本委員長及び山本教育長に代わり、先月の議会で同意を得て、10月2日付で私、藤田仁が教育長に、豊田克文さんが教育委員として就任いたしました。委員の皆さん、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、就任後初めての教育委員会定例会となりますので、理事者の方に自己紹介をお願いしたらと思います。

(前田事務局長)

では、失礼いたします。教育委員会の理事者についてご紹介をさせていただきます。

私、事務局長をさせてもらっております前田昌一でございます。よろしくお願ひします。

続きまして、家串正治事務局次長。

(家串事務局次長)

家串でございます。どうぞよろしくお願ひします。

(前田事務局長)

家串次長は、生涯学習政策課長の事務も取り扱っております。

続きまして、杉本威事務局次長です。

(杉本事務局長)

杉本でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)

杉本次長は、地域学習振興課長の事務も取り扱っております。

続きまして、向かって右手側ですが、大本光浩学校教育課長です。

(大本課長)

大本光浩です。よろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)

松谷照仁学校教育課教職員担当室長です。

(松谷室長)

松谷でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)

続きまして、横江茂樹学校教育課管理指導監です。

(横江指導監)

横江茂樹です。よろしくお願ひします。

(前田事務局長)

続きまして、藤本昭二松山市教育研修センター事務所長です。

(藤本所長)

藤本昭二でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)

続きまして、鷺谷浩三学習施設課長です。

(鷺谷課長)
鷺谷でございます。よろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)
続きまして、若江俊二文化財課長です。

(若江課長)
若江俊二でございます。よろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)
続きまして、加地寿徳文化財課子規記念博物館所長です。

(加地所長)
加地でございます。よろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)
続きまして、三谷隆信保健体育課長です。

(三谷課長)
三谷隆信でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)
続きまして、沖広善久教育支援センター事務所所長です。

(沖広所長)
沖広でございます。よろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)
最後に、重松佳久中央図書館事務所所長です。

(重松所長)
重松です。よろしくお願ひいたします。

(前田事務局長)
以上が理事者でございます。これからまた皆様方のご指導を賜りますようよろしくお願ひいたします。

(教育長)
どうもありがとうございました。
それでは、議事に移ります。

日程第1 報告第15号「公民館運営審議会委員の委嘱について」を議題といたします。
杉本事務局次長、説明をお願いします。

(杉本事務局次長)
失礼をいたします。地域学習振興課でございます。

お手元の資料1ページをお願いいたします。
報告第15号「公民館運営審議会委員の委嘱について」説明をさせていただきます。

公民館の事業計画や管理運営等を審議する公民館運営審議会委員は、教育委員会が委嘱することとなっておりますが、今回、垣生公民館の運営審議会委員に変更が生じたため、教育長の専決により委嘱しましたので、松山市教育委員会事務委任規則第2条第2項に基づき、報告するものでございます。

今回新たに委嘱した委員さんは、お手元の就任者氏名等でございます中矢成之さんであります。中矢さんは、現在西垣生協議会区長を務めていらっしゃいます。

変更理由は、前任者が一身上の都合により退任したことによるものでございます。

なお、任期は平成28年8月10日から平成29年3月31日までで、前任者の残任期間となっております。

以上で説明を終わります。どうぞよろしくお願ひいたします。

(教育長)
以上で説明は終わりました。この件に関しまして何かご意見等ございますでしょうか。
ありますか。

(一同)
なし

(教育長)
それでは、報告第15号「公民館運営審議会委員の委嘱について」ご異議ございませんか。

(一同)

異議なし

(教育長)

異議なしと認めます。

次に、日程第2 報告第16号「平成28年度学校医の委嘱について」を議題といたします。

三谷保健体育課長から説明を求めます。

(三谷課長)

失礼いたします。保健体育課でございます。

平成28年度学校医の委嘱についてご報告いたします。

資料の3ページをお願いいたします。

学校医につきましては、学校保健安全法の規定に基づき、教育委員会が委嘱し、市立小中学校にそれぞれ配置しておりますが、今般、眼科の学校医1名の辞職があり、伴い後任を委嘱いたしましたので、松山市教育委員会事務委任規則第2条第2項の規定に基づき、本日も報告するものでございます。

委嘱の概要を申し上げます。

番町及び東雲小学校並びに東中学校の学校医である高岡裕子氏が去る9月30日付で辞職したため、その後任として翌10月1日付で兵頭靖秋氏を委嘱したものであり、同氏の委嘱の期間は、前職者の残任期間である10月1日から来年3月31日までとなっております。

なお、高岡裕子氏の辞職は一身上の都合によるものでございます。

以上で説明を終わります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(教育長)

以上で説明は終わりましたが、この件に関して何かご意見等々ございませんか。

ありませんか。

(一同)

なし

(教育長)

それでは、報告第16号「平成28年度学校医の委嘱について」ご異議ございませんか。

(一同)

異議なし

(教育長)

ご異議なしと認めます。

次に、日程第3 説明事項「平成28年度全国学力・学習状況調査 松山市立小中学校の調査結果について」を議題といたします。

では、大本学校教育課長から説明をお願いします。

(大本課長)

学校教育課です。よろしくお願ひいたします。

平成28年度全国学力・学習状況調査についてご説明いたします。

まず、資料についてご説明いたします。

資料6ページですが、本調査の概要についての説明で、今年度は国語、算数・数学が実施されました。資料6ページの下から7ページにかけては、本調査の結果について説明したものになります。昨年度と同様に、数値で公表しています。

なお、各教科の設問ごとの状況や特徴が見られた問題については、本市ホームページにデータ添付することで、誰でもダウンロードし、閲覧することができます。

資料の8ページから20ページまでがそのダウンロードできるデータです。

まず、資料8ページから15ページの各教科の調査結果の概要は、全国と比較し、特徴が見られた設問について解説するとともに、改善策等もあわせて記述しています。

次に、資料16ページから20ページの生活習慣等に関する調査結果の概要についてです。

全国と比較し、特徴が見られた設問の分析結果をまとめています。また、家庭における学習習慣の定着と質の向上を、本調査における本市の目標に掲げており、その分析結果のまとめもあわせて行っています。

最後に、総括として、全体的な考察と今後の方向性についてまとめています。

それでは、今回の結果についてですが、まず教科に関しては、松山市立小中学校全体の平均正答率と全国の平均正答率、これは公立学校全体の正答率について比較したところ、松山市の平均正答率は小学校国語Bで全国平均を大きく上回り、小学校算数A・算数Bで全国平均をやや上回り、そ

の他については全国平均とほぼ同じ状況でした。

全体的には、小学校は全国平均よりやや上回る、中学校は全国平均とほぼ同じ力で、良好な状況と言えます。

また、生活習慣や学校環境に関する質問紙調査については、小中学校ともに、総合的な学習の時間などの課題解決的な学習に意欲的に取り組んでいると答えた割合が全国平均を大きく上回っています。

また、小学校では、道徳の時間などにおいて、話し合い活動を通じて考えを深めたり広げたりすることができていると答えた割合が、全国平均よりもやや上回っています。

さらに、中学生においては、友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意であると回答した生徒の割合が徐々に伸びてきており、全国平均をやや上回っています。

これらのことから、本市の小中学校における授業改善が良好に進んでいることが伺えます。しかし、課題としては、小学校では平日の読書が30分以上であると答えた割合が、全国平均をやや下回っていること、中学校では、家で授業の復習をすること、話し合っただけのきまりを決めることなどが全国平均を大きく下回っていることが挙げられます。これらを踏まえて、今後も子どもたちが主体的に学び、活動できる授業や環境を構築していくとともに、家庭との連携も図っていくことが重要であると捉えています。

最後に、今後の公表等の動きについてですが、学校名を明らかにした結果公表の項目については、例年と同様に今年度も本市では行わないこととしています。

定例会後、ホームページで本市の結果公表を行うとともに、ホームページに掲載するデータを各小中学校に送付します。各学校においては、学校長のリーダーシップのもと、学力向上推進主任が中心となって、本市のデータを学力向上推進に資する資料として有効活用できるようにしていく予定です。

以上で説明を終わります。よろしくお願いいたします。

(教育長)

ありがとうございました。

以上で説明は終わりましたが、この件に関して

ご質問なりご意見等がございましたらお願いします。

(豊田委員)

失礼いたします。非常に小学校も中学校もよく頑張っているなど安心しています。学校教育課長さんにもお願いをしておきたいのですが、学習習慣の定着と学力の向上という、非常に大事なことだと思うのですが、あわせて生活習慣をきちんと形成するというのも忘れないように、各学校で指導するようにしていただきたいと思います。

勉強時間が長いから良いというわけではなく、やはり生活習慣、特に、睡眠時間を確保するというのがとても大事で、そうなってくるとテレビ、DVDの視聴時間とか、ゲームをする時間というようなことも大事になってこようかと思えますけれど、そういうこととあわせて、学習習慣というふうに捉えていただきたい。

もう一点は、学校の授業改善が、主体的な学習が進んでいる、非常に良いことだと思うのですが、それとあわせて、例えば、宿題があるから家庭学習の時間が増えているとなると、自分で計画的に、自分でという能動的な学習にということにならない可能性もあります。

だから、それもあわせて、特に授業改善を図るときに、新しい学習指導要領が改訂されようとしています。その授業が完全に自主的な発表になる、主体的で能動的な学習というようなことがあると思うのですが、主体性の中に能動的なという要素をより各学校で考慮していただいて、取り組みがさらに充実するように質的な向上を図れるようにご指導いただけたらと思います。これはお願いですけれども、よろしくお願いいたします。

(大本課長)

豊田教育委員さんから大変ありがたいご指導をいただいたと思っております。

まず、学習習慣につきましては、委員さんからも指摘がありましたように、テレビの視聴、そしてゲーム等の時間、このあたりが気になる子どもが実際おりますので、これが個々の子どもがどうなのかというところに視点をしっかり当てて、生活習慣から改善ができるように学校にも指導していきたいと思っています。

それから、2点目の授業改善についてですが、これにつきましても、主体的、能動的などというところで、やはり本市では、子どもたちが自己肯定感が高かったことが、私としてはすばらしいことだと考えております。やはり、自分を大切にしてい、将来に向けてしっかりと考えながら生きていく、そういったことを、日々の生活、学習の中でも培っていくことができるのではないかと思いますので、今後もそういったところに視点を置くように、各学校へも指導してまいりたいと思いません。どうもありがとうございました。

(教育長)

ありがとうございました。
そのほかに、お願いします。

(一色委員)

28年度の今回の学力調査の全国平均との比較で、松山市は数ポイント上回り、よくできているという評価なのですが、時系列的に見て、昔はもっとよかったけれど、最近はこのぐらいにとどまっているのか、あるいは昔はもう少し全国平均と差があったけれど、皆さんのご努力で最近上向きかけているのか、そういう時系列の感触でいいのですけれど、教えていただきたい。昔と比べてといたら変ですけど、数年前と比べて上向きなのか、それとも横ばいなのか、下を向いているのか、感触でも、数字でも結構ですが。

(教育長)

大本課長、お願いします。

(大本課長)

本市でも、こういった調査が始まった時期におきましては、さまざまな課題が見られていたと認識をしております。ただ、近年の子どもたち、そして各学校の教員が毎日の授業改善を大事にして、取り組んでいったおかげで、質的なところのベースアップもできておりますし、それから特にBの活用の問題につきましても、以前に比べて子どもたちも正答率が高くなっていると認識しております。

(一色委員)

そうすると、やはり上向きかけているという理

解でいいのですか。

(大本課長)

そのように認識をしております。

(教育長)

よろしいですか。

(一色委員)

はい。

(教育長)

そのほかございませんか。
お願いします。

(牛山委員)

どちらかというやはり文系ですので、文系理系というのは私が大学の先生であるさげでしょうが、でも大学も文理融合というのをすごく今大事に考えていて、算数のちょっとした苦手意識で、やはり数学になってくると難しくなってくるので、そこが小中の連携の工夫をこれからされていくことかなと思うのですが、数学に対する対策は何か市の方でお考えなのでしょうか。

(教育長)

はいどうぞ、課長。

(大本課長)

算数・数学等につきましては、やはり個人差といますか、そういったところが顕著に出やすいところじゃないかと思っております。やはり、学習をして、わかった、できた、こういった喜びが次への学ぶ意欲につながっていくと思っておりますので、従来より取り組んでおります学習アシスタントの活用と、今実施をしております授業の充実、そして質的な向上を含めまして取り組みたいと思っております。

なお、特に教職員につきましては日々の取り組みが、学校訪問等でまわりましても、以前に比べて充実をしてきているように感じますので、そういった教職員の励みになるような、そういった声かけも必要でないかと考えております。そういったことを通じて、個々の児童・生徒が学ぶ意欲を高めていき、学びに向かっていってもらえたらな

というふうに考えております。

(教育長)

よろしいでしょうか。

(牛山委員)

期待しております。ありがとうございました。

(教育長)

よろしいですか。

どうぞ。

(松本委員)

このような良い結果をお聞きしまして、子どもたちはもちろん、教員も保護者にとってもすごく良い励みになる、これでまた新たなものにつながっていく予感がしています。また、引き続きどうぞよろしく申し上げます。

(教育長)

そのほかございませんか、よろしいでしょうか。

(一同)

なし

(教育長)

それでは、今委員さん方からいただいたご指摘や意見を、充分反映をしていただいて、活かしていただいたらと思いますので、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、ほかに意見もないようでございますので、以上をもちまして本日予定の日程は全て終了をいたしました。

これをもちまして平成28年第8回の定例会を閉会いたしたいと思っております。どうもありがとうございました。

(家串事務局次長)

ご起立願います。

一同礼。